

研究課題番号	1-2005
研究課題名	バイオマス廃棄物由来イタコン酸からの海洋分解性バイオナイロンの開発
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	北陸先端科学技術大学院大学
研究代表者名	金子 達雄

1. 委員の指摘及び提言概要

順調に進んでいる。バイオマス廃棄物の再利用による海洋分解性バイオマスは多方面での活用が期待できる。物質添加により物理強度がUPしたことは素晴らしいがそのメカニズムの解明が望まれる。優れた物性のナイロンが得られるようであり、将来が期待される。今後は用途開発にも配慮する必要がある。バイオマスからイタコン酸を生産する工程における物質収支および製品にならずに排出される物質の組成の明確化が望まれる。研究期間の残りは、分解性試験の精緻化、分解の条件とその際の分解速度、海洋環境への影響評価、他の化学物質等による分解の評価、社会実装可能性と上市した場合の価格競争性や価値、従来品との差別化により商品として成立できるかについての検討が望まれる。

2. 採点結果

評価ランク：A